

令和６年度決算と比較して大きく変わったところは？



普通建設事業費は、
まさき幼稚園改修工事完了（2 億 5560 万円減）公営住宅等長寿命化事業（1 億 7297 万円減）はあったが、筒井地区雨水対策（4 億 4957 万円増）塩屋地区雨水対策（1 億 9219 万円増）文化センター中規模改修（1 億 1756 万円増）などにより、4 億 7555 万円（32.4%）の増に。

物件費は、
小中学校の GIGA スクール端末（1 億 5592 万円）の更新、放課後児童クラブの民間委託（1 億 1614 万円）を開始、ふるさと納税寄付金増収に伴い返礼品等に係る事業費が増額（3706 万円）などにより、4 億 7223 万円（31.6%）の増に。

すべての決算は？



右表のとおりだよ。



令和７年度歳入歳出決算

一　般　会　計	歳　入	155 億 4679 万円	歳　出	148 億 6776 万円
国民健康保険特別会計	歳　入	30 億 4327 万円	歳　出	28 億 8134 万円
後期高齢者医療特別会計	歳　入	6 億 1334 万円	歳　出	5 億 9332 万円
介護保険特別会計				
保　険　事　業	歳　入	31 億 9443 万円	歳　出	31 億 1494 万円
介護サービス事業	歳　入	1721 万円	歳　出	1609 万円
水道事業会計	収益的収入	6 億 6604 万円	収益的支出	4 億 3751 万円
	資本的収入	22 億 7397 万円	資本的支出	24 億 4973 万円
下水道事業会計	収益的収入	5 億 5265 万円	収益的支出	4 億 2015 万円
	資本的収入	2 億 8767 万円	資本的支出	5 億 3191 万円

※水道事業会計・下水道事業会計ともに、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度消費税などで補てんしています。



監査委員からの審査報告と提言

○　一般会計

財政諸指数は良好な状態

1　町税収入は増えているが、社会保障関係費は今後も増加が見込まれるので適正範囲の維持を。
2　ＤＸによる業務の効果検証を行い、注力するべき分野の見極めを。
3　災害対応において、防災担当課が情報を集約、指揮命令系統を可視化し防災体制の強化を。
4　農家の高齢化と担い手不足に直面しており、町が主体的に農業の未来を構想し具体的な施策の展開を。
5　町政懇談会や広報まさき等により、町政への関心を高め、声を掘り起こす取組を。
6　事務事業評価を深化させ透明性の高い信頼される行政運営を。

○　水道事業会計

1　松前浄水場は完成したが、将来の更新需要に備え効率的な運営と財政計画に基づいた経営を。
2　給水人口の減少など厳しい状況が予想されるため、経費の削減や徴収率向上など経営改善を。
3　令和７年度から段階的に水道料金の改定が行われるため、今後の経営状況の分析を。

○　下水道事業会計

1　収益的収支には一般会計が負担する経費が含まれており、今後も独立採算の原則に立ち、経営の健全化を。
2　下水道使用料の未収納額は前年度より減少しているが、引き続き回収に努めるように。
3　水質保全と美しく快適な居住環境づくりの計画的推進を目指し、経営の健全化に努め安定的な事業継続を。